

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第14週（4月1日～4月7日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 増加続く」

第14週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,210例であり、前週比0.2%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.09、3.39、2.52、0.48、0.34である。

感染性胃腸炎は前週比14%減の802例で、中河内6.45、南河内5.31、三島5.06、大阪市北部4.64、豊能4.55であった。

RSウイルス感染症は28%増の665例で、大阪市北部7.36、中河内5.35、南河内4.63であり、9週連続で増加している。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1%減の494例で、堺市4.89、大阪市南部3.83、北河内3.12であった。

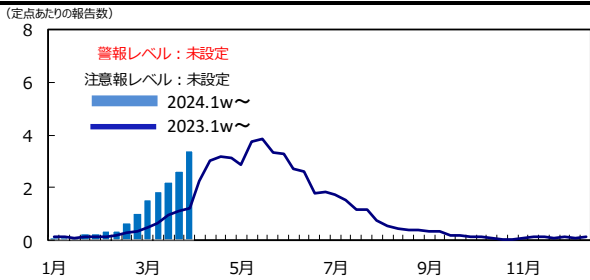
手足口病は14%減の94例で、泉州1.10、中河内0.80、大阪市南部0.72である。

咽頭結膜熱は25%増の66例で、南河内1.19、泉州0.48、中河内0.45であった。

インフルエンザは54%減の578例で、定点あたり報告数は1.90である。大阪市西部2.87、堺市2.79、南河内2.67、中河内2.29、泉州1.91であり、9週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は10%減の992例で、定点あたり報告数は3.26であった。大阪市北部3.80、北河内3.78、大阪市東部3.77、泉州3.74、堺市3.72である。

RSウイルス感染症



感染性胃腸炎

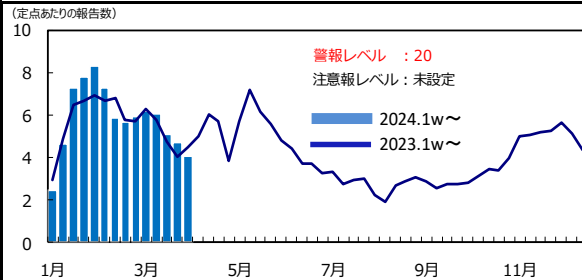


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第14週4月1日～4月7日）

第14週の順位	第13週の順位	感染症	2024年 第14週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第14週の 定点あたり 報告数	2024年第14週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.09	14%減	4.44	2歳_11%
2	2	RSウイルス感染症	3.39	28%増	1.18	1歳未満_31%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.52	1%減	0.63	5歳_15%
4	4	手足口病	0.48	14%減	0.03	1歳_29%
5	6	咽頭結膜熱	0.34	25%増	0.28	2歳_24%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.90	54%減	1.15	20歳以上_25%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	3.26	10%減	-	80歳以上_12%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降\(大阪府\)』の情報をご覧ください。](#)

[詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症\(大阪府感染症情報センター\)』の情報をご覧ください。](#)

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第14週のコメント

～腸チフス～ 手洗いの徹底と、十分に加熱された飲食物を摂取することが重要である

全数把握感染症																			
腸チフス																			
<p>腸チフスはチフス菌を起因病原体とする全身性の感染症であり、患者や保菌者の便と尿が感染源となる。</p> <p>通常、7～14日（報告によって3～60日）の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、食欲不振及び全身倦怠感などの症状を発症する。また、39℃を超える高熱が1週間以上続き、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔が生じることがある。重症例では、意識障害や難聴が起きることもある。</p> <p>治療は、抗菌薬投与が効果的である。南アジアなどで、薬剤耐性菌も多く報告されていることから、処方された期間で適切に服用する必要がある。5～10%の症例で再発がみられる。</p> <p>腸チフス・パラチフスとは（国立感染症研究所） 腸チフス・パラチフス（厚生労働省 検疫所）</p>	<p style="text-align: center;">年別累積報告数</p> <p>2024年は大阪府第14週時点、全国第13週時点</p> <table border="1"> <caption>年別累積報告数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府累計</th> <th>全国累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>4</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	年	大阪府累計	全国累計	2020	1	20	2021	0	5	2022	1	15	2023	4	40	2024	1	10
年	大阪府累計	全国累計																	
2020	1	20																	
2021	0	5																	
2022	1	15																	
2023	4	40																	
2024	1	10																	

表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第14週4月1日～4月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1					1				23
	腸チフス	1								1	1
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			1					1	24
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1					1	43
	クリプトスポリジウム症	1							1		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3			1		1			1	35
	後天性免疫不全症候群	1								1	25
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1						1			17
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	68
	梅毒	22							2	3	17
百日咳	1								1		11
結核 (2024年2月分)	結核 新登録患者数：41名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 19名) (府内累積報告数 118名、内 肺・喀痰塗抹陽性 49名)										

(2024年4月9日 集計分)